

全国47都道府県において、産業廃棄物処分量を展開しているオーエム通商株式会社。PCやサーバー、携帯電話などの機器に特化したリユース・リサイクル処理を実施し、それらの資源を有効に活用することで、環境に優しい資源循環プロジェクトを推進している。同社 執行役員 松井慶一氏に、循環型社会の実現に向けた取り組みについて解説していただきました。

循環型社会の実現に向けて3Rを推進し、  
ゴミの埋立処理を限りなく「ゼロ」へ

**point** 再資源還元率99.8%！ 回収品を手作業・手選別で丁寧かつ安全に取り出す

同社は、資源循環にあたり、お客様の資源回収の工事作業からアンマウント作業までをワンストップで対応している、また要望に応じて、オンサイトにてPCに搭載されたHDDを破壊したり、NTTcom監修のセキュリティチームによる搬出作業も実施。回収したPCや携帯端末などは手作業・手選別によりパーツ類を取り出しているため、リサイクル率が高い。IT機器は個人情報の漏えいも問題になるため、リユースする際に、同社では物理破壊でなく、ソフトウェアで情報を3回、あるいは5回ほど上書き消去することで万全を期している。



同社では、基盤類や高価な貴金属類だけでなく、プラスチック類など、取扱い製品のほとんどがリサイクルされ、再資源還元率は99.8%を誇っている。発砲スチロールは、粉碎・溶解・圧縮工程を経てインゴットになり、新たなプラスチック素材として生まれ変わっている。

現在の年間回収実績は、携帯端末90万台、基地局5万台、社内PC3万台、サーバー300架相当(1案件)、プリンター約1万2000台、POSレジ1万店舗分、製造メーカー資材32トン、製品3000万台などだ。このようなリサイクル事業に加え、SDGsへの取り組みも進めている。中学生を招いた環境教育や、再生エネルギー・LED照明の社内導入、カーボンオフセットの実施、シルバー人材や障がい者雇用などにも積極的だ。

**point** サーキュラーエコノミーに向けた多数の3R事例あり！

同社では、サーキュラーエコノミーに向け、多くの取り組みを推進している。たとえば回収したストレッチフィルムを、提携処理業者によって99%再生ごみ袋「FUROSHIKI」として生まれ変わらせている。本製品は2020年度にGOOD DESIGN AWARDを受賞した。

ストレッチフィルムの再利用

99%再生材ごみ袋『FUROSHIKI』

当社で回収したストレッチフィルムは、提携している処理業者により、「再生材ごみ袋」として生まれ変わります。



また、コスメブランドの「SABON」では、全店舗の化粧品の空き瓶を回収し、同社で再利用品とリサイクル品を選別したうえで、フラワーアレンジメントの花瓶としてリユースしたり、同社側でリサイクルしたりしている。ほかにも今年からソフトバンク携帯ショップや佐川急便と提携し、携帯リサイクルを強化してCO2ゼロを目指していく予定だ。

このように同社では、持続可能な循環型社会を主要テーマとして、企業としての社会的責任を果たすべく活動している。社会生活を続けていく以上は、廃棄物は必ず出てしまう。

そういったことに目を背けずに、まずは「廃棄」という大きな課題とゴミの行方を認識していくことが大切だ。近年は不法投棄は減っており、むしろ廃棄物でも価値のあるものを取り出して適正に処理することが、社会に貢献する道になると考えられている。同社は東西に拠点があり、全国各地での廃棄物に対する困りごとを解決できる。



松井 慶一 氏  
オーエム通商株式会社  
執行役員

1983年兵庫県出身。2011年にオーエム通商株式会社に入社し、環境資源ビジネスに携わり、産業廃棄物コンサルティング・資源マテリアルリファイン・パーツリサイクルリユースを専門に多数の企業様の悩みを解決。2017年から現在に至るまではCSR活動やSDGsの取り組みを担い、社会貢献活動について日々注力している。

問合せ先

一般社団法人SDGsデジタル社会推進機構(ODS)

info@ods.or.jp

※お問い合わせの際には「ウェビナー通信を見た」とお伝えください



ODS WEBサイト